

KANPEIみちのくマラソンで 間寛平さんが来町



↑次走者にタスキを渡す間寛平さん

8月10日、世界一周のアスマラソンを完走した間寛平さんが、東日本大震災の被災地に元気を届けるべく、8月10日（水）から福島県楡葉町をスタート地点とし、宮城県、岩手県を縦断する「RUN FORWARD KANPEI みちのくマラソン」に挑戦する行程で、広野町を訪れました。

中継地点としていた広野町役場前に間寛平さんが走りこんでくると、沿道から大きな歓声が上がりました。その後、タスキを託された福島中央テレビの徳光雅英アナウンサーが声援を受けて元気よく走り出しました。

安倍昭恵首相夫人が来町



↑保育所を訪問した安倍昭恵氏（写真中央）

8月9日、安倍昭恵首相夫人が広野町に来町しました。安倍夫人は、広野町デイサービスセンター広桜荘で利用者や職員と懇談し、一緒にレクリエーションをしたりして交流しました。広野町保育所では、子どもたちと一緒にお菓子を食べたりしながらふれあい、職員とも意見を交換しました。広野町役場では町長と懇談し、職員に対して激励の言葉を述べました。

今村雅弘復興大臣が広野町を視察



↑今村大臣（写真左）と長沢副大臣に要望書を渡す遠藤町長

8月19日、今村雅弘復興大臣が長沢広明復興副大臣とともに広野町を訪れ、広野みらいオフィスや駅東側開発地区、県立ふたば未来学園高等学校を視察しました。

視察では、広野みらいオフィスの屋上で遠藤町長が町の復興の状況や課題などを説明し、広野町の復興・再生に向けた要望書を手渡しました。

また、県立ふたば未来学園高等学校では、丹野校長や南郷副校長、2期生生徒と懇談しました。

広野駅東側の復興事業説明会を開催



↑復興事業説明会の様子

8月21日、広野町公民館で広野駅東側復興事業に係る地権者らを対象に、駅東側復興事業説明会を開催しました。説明会では、既に土地の造成が完了している「産業ゾーン」にあたる第1期工事エリアに続き、「住宅ゾーン」にあたる第2期工事エリアの用地取得や宅地造成の方針について説明がなされました。

「住宅ゾーン」には、県立ふたば未来学園寄宿舎の建設や、町民などの宅地需要の高まりを受けて宅地を確保することなどが盛り込まれています。

旧広野（下北迫）で 「お盆の迎え火」焚き



↑道路わきに連なる迎え火

8月13日の夕暮れ時、下北迫の旧広野で「お盆の迎え火」が焚かれました。旧広野は、旧6号国道（町道築地新町線）を挟んで東町と西町とがあります。かつて、浜街道の宿場町であったことから、街道の家並みを今に伝えています。震災の影響により揃って迎え火が焚かれない年もありましたが、震災から5年を経て、各家々で先祖の霊を迎え入れようと一斉に迎え火が焚かれていました。

夏休み子どもアウトドア クッキング教室を開催



↑小麦粉入りペットボトルにひと苦労

7月27日、公民館にて広野小学校の児童を対象に、夏休み子どもアウトドアクッキング教室を開催しました。子どもたちは、段ボールでオーブンを作ったり、ペットボトルでピザ生地を作ったり、焼きりんごや綿あめを作ったりして楽しみました。ペットボトルに小麦粉を入れるのに大変苦労していましたが、班のみんなと協力して頑張りました。

広野みらいオフィスを訪問



↑入居事業所の従業員に挨拶する遠藤町長

8月4日、遠藤町長は広野駅東側の「広野みらいオフィス」を訪問し、入居する事業者の従業員に対して、広野駅からのアクセスなど、ビジネス環境が整わない中での復興に向けた取り組みについて、感謝の言葉を述べました。また、交通安全や健康への留意をお願いしました。

広野中学校海外教育交流 派遣事業結団式



↑団員任命書の交付を受ける生徒たち

8月10日、広野中学校海外教育交流派遣事業の結団式を広野町公民館で開催しました。今年の海外教育交流派遣先はカナダ国ケロウナ市で、8月17日～8月24日の期間、広野中学校2学年22人が参加します。

式では、遠藤町長、黒田議長が激励の言葉を述べ、生徒代表が海外での交流を通じて大きく成長することを誓いました。